

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（577）

2. 日時：令和5年10月16日 14時30分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、宮本上席安全審査官※、

藤原主任安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他6名

原子力事業統括部 原子力土木第2グループ※、他1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定に係る指摘事項回答及び入力津波の評価条件について）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 29）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁藤原ですそれでは時間になりましたのでヒアリング始めます。豆乳発電所の3号の耐津波設計方針についてのうち、入力値民の設定に係る指摘事項回答、これについて事業者の方から説明してください。
0:00:15	はい。北海道電力の高橋です。本日は対津波設計の入力津波関係についてご説明させていただきたいと思います。
0:00:26	こちらにつきましては先週ヒアリングをさせていただきまして、その中で事実確認いただいた中で修正が必要と考えたところを今回修正してきてございますので、
0:00:38	そういったところを中心にご説明をさせていただきます。また今回の資料につきましては、ハザード側の基準津波の方の
0:00:49	比下降側について、審査が後送りになったこともございますので、
0:00:59	入力津波側も下降側については今回ツジという形で5アノ、
0:01:05	資料を修正させていただいております。それでは詳細よろしの方からご説明します。
0:01:12	北海道電力の吉井です。それでは資料2-1の方でご説明させていただきます。
0:01:19	まず1ページご覧ください。
0:01:21	本日の説明事項のところの、①のところ、審査会合における説明の趣旨ということで追記いたしております。
0:01:30	今回は上昇側の基準津波を対象とし、入力津波の評価における地形変化に係わる影響要因の選定の考え方とそれに基づいた、入力津波の評価条件の考え方をご説明すると。
0:01:44	また3号炉取水施設放水施設1号及び2号の取水施設における感度解析の解析条件モデルの概要をご説明する。
0:01:53	さらに加古川の基準津波に関連する事項及び上昇側においても入力津波の設定に関わる詳細な考え方や、
0:02:02	その評価結果については今後説明するという位置付けとして記載してございます。
0:02:08	56ページ一番最後のページ。
0:02:11	におきましてツジとする事項を整理してございます。
0:02:19	で、これらにつきましては今後お示しするという形とさせていただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	続きまして、4 ページご覧ください。
0:02:33	4 ページの保守性を考慮した時間の定義について、第 1 から第 4、簡単な説明を追加してございます。
0:02:42	またに早うはの間に
0:02:45	貯留堰天端高さと比較して十分に水位が高く必ず貯留堰内の水位が回復するため、間に早う羽根間で引き波となるという説明はそのままでございますけれども、
0:02:58	この引き波のうち一時的な水位上昇、そこで第 3 報を含むということで追加いたしております、
0:03:07	第 3% も含む一時的な水位上昇による水位回復を見込まない貯留堰天端高さを下回る時間を、保守性を考慮した時間等を定義するというような文言に修正してございます。
0:03:22	続きまして、5 ページ、ご覧ください。
0:03:27	5 ページは基準津波の候補ということで、水位下降側の方はツジということで、修正してございます。
0:03:36	続きましてページ飛びまして 17 ページご覧ください。
0:03:45	17 ページは敷地周辺の遡上浸水域の把握にあたっての考慮実行考慮事項に対する確認の記載でございますけれども、
0:03:54	こちらの最大水位上昇量分布図でアノ茶津第 2 トンネルの位置を明示するとともに、米印 4 で、宇多津第 2 トンネルからの流入による松波の遡上量は、
0:04:07	護岸部からの直接の遡上量と比較して小さく、膨張て前面における津波水位への影響は小さいのでモデル化していないというような注記を追加してございます。
0:04:20	18 ページご覧ください。
0:04:23	こちらは訴状はの敷地への回り込みの可能性の説明でございますけれども、
0:04:29	こちらにつきましては最大水位上昇量分布図、以前は加古川を代表として
0:04:38	波源を選んでおりましたが上昇側で最大水位となるケース、波源輪を代表して、
0:04:46	分布図を差し替えてございます。
0:04:51	19 ページご覧ください。
0:04:55	19 ページから定量的評価に関わる説明になりますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	上の枠囲いの検討結果のところでは修正しているところで、定量的評価の段階で、松波水の
0:05:11	値が大きいほど、最終的な入力津波の設定値も保守的になることから、定量的評価にあたっては、津波水位等の最大値が認められた地形変化を影響要因として抽出すると。
0:05:24	という方針に見直してございます。
0:05:27	それに伴ってフローズヤマシタの注記についても、適宜見直しをしてございます。
0:05:35	続きまして21ページから25ページの方で定量的評価の概要ということで、各地形変化についてまとめてございますけれども、
0:05:48	それぞれのページで対応するまとめ資料の
0:05:53	該当する場所を追加してございます。
0:05:57	また21ページの自然時山のところで、最大水位上昇量分布図D、茶図側で水位が大きくなる波源のところ、
0:06:08	上昇側の津波に
0:06:11	変更してございまして、ウチヤマ範囲としましては
0:06:15	以前から変わらない、範囲を示すということで、修正を加えてございます。
0:06:22	22ページにつきましては地すべり地形の設定に関する説明なんですけれども、
0:06:30	米印1で、地すべり地形3のうち、主に堆積物を崩壊範囲として、崩壊範囲の設定の根拠は今後説明するという位置付けを追加してございます。
0:06:44	また米印3の方で水位下降側の波源が確定した段階で、
0:06:50	松波タカマツ津波高さ以外について再検討するというような文言を追加してございます。
0:06:57	これら23ページ以降も同じ説明、注記を追加しているといった次第です。
0:07:06	続きまして25ページ、ご覧ください。
0:07:12	25ページは海域の地盤変状の説明でございましてけれども、
0:07:18	右下の方にですね、A´断面図を追加しまして、地盤変状範囲と、変状しない範囲が
0:07:28	返上する範囲を一応2、2メートル沈下しているということがわかるようなイメージ図を追加してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:36	さらに枠囲いの米印1のところ、沈下想定範囲内外航案内外の境界部に局所的な標高差が生じることで、
0:07:46	津波が港湾内に流入する際の流速が大きくなる可能性があることから、最大流速に関わる入力津波を保守的に設定する観点で、
0:07:56	一応 22 メーターの沈下を想定したというような説明を追記してございます。
0:08:03	続きまして 26 ページご覧ください。
0:08:07	26 ページにつきましては、上昇側の津波高さの観点での影響要因の整備結果になりますけれども、こちら評価項目ごとに最大値が認められる地形変化を影響要因とすると。
0:08:21	いうことで
0:08:23	それぞれの評価項目について一つの地形変化を影響要因として設定するというような考えに修正してございます。
0:08:33	並びに左下のところで、影響要因とする地形変化の結論を追加するようにしてございます。
0:08:43	27 ページ。
0:08:45	ご覧ください。こちらにつきましては水位下降側の結果ということでツジとしてございます。
0:08:51	28 ページご覧ください。
0:08:54	津波高さ以外の最大流速の結果ですけれども、下半分のところの下降側の波源についてはツジと、
0:09:04	いうことで最大流速の観点で、
0:09:07	波源Dの市、海域地盤の沈下ということで最大値が認められると。
0:09:14	というような記載ぶりに変更してございます。
0:09:17	そして左下のところで影響要因とする地形変化の結論を追記してございます。
0:09:25	29 ページ。
0:09:27	ご覧ください。
0:09:29	流況につきましても、結論としては変わらないですけれども、
0:09:34	最終的に防波堤の損傷のみを営業要因として考慮するというような文言を記載追加してございます。
0:09:42	30 ページご覧ください。
0:09:46	定量的評価の考察でございますけれども、陸域の五名重慶カーの方につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:54	包丁で前面や3号取水口について、具体的な波源をとその水位上昇量の値を載せましてその最大値が認められたと。
0:10:06	膨張で前面で5メートル沈下を考慮することで、水位上昇量が+0.98メートルと大きく増加してまして、
0:10:16	それが基本ケースで最大であったケースと入れ替わって、水位上昇量の最大値を示している。
0:10:23	真子令和、考察としては以前から変わらず、防波堤による松波の構内への流入抑制効果が低減したことが要因と。
0:10:34	ということで、説明を見直してございます。
0:10:38	また5メートル沈下以外の地形変化につきましては、12号取水口放水高それぞれの
0:10:46	最大ケースの説明をしまして、
0:10:50	水位上昇量を更新することで最大値を示しているというようなまとめに修正してございます。
0:10:58	また枠囲いの下のところ結論を述べてまして、今後は、評価項目ごとに抽出された地形変化を考慮する上で入力津波を設定すると。
0:11:09	ような括りとしてございます。
0:11:13	31ページご覧ください。
0:11:16	31ページの最大流速の説明でございますが、こちらは概ね説明としては変更してないですけども、
0:11:26	5メートル沈下以外の地形変化として、海域の2メートル沈下のところで最大値が認められた波源の数、
0:11:36	上昇側の波源から選んでいるということで修正を加えてございます。
0:11:41	また枠囲いの下のところ、まとめを
0:11:46	追加しているといった状況でございます。
0:11:51	33ページご覧ください。
0:11:56	33ページでまとめのところの一番上の枠囲いで、定性的評価の結果、青字で示す項目は入力津波設定にあたり影響要因として考慮不要と判断し、残る。
0:12:11	項目について定量的評価を実施した、定量的評価の結果、緑字のところは、影響要因として考慮不要であり、赤字で示す項目を影響要因として考慮するというので

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:24	それぞれの地形人工構造物がどのような結論になったかということ を明確にさせていただきます。
0:12:35	続きまして感度解析の方の修正事項ですけれども、37 ページご 覧ください。
0:12:44	37 ページの 3 号炉取水施設のモデルの説明でございますけれど も、池弓野貯水プールの説明で水位下降側の説明を追加してござ います。
0:12:58	感度解析につきましてはその辺りの修正となりまして続きまして 2 章の方の修正箇所についてご説明させていただきます。
0:13:10	43 ページをご覧ください。
0:13:15	43 ページは、津波高さ以外の観点での検討対象の整理というこ とでちょっとスッ上の枠囲いの説明を見直してございまして、
0:13:25	最大流速を確認して、津波基準津波候補の波源に紐づかない地形 モデルにおいて最大流速が認められる場合には、
0:13:35	安全側の評価となるように、
0:13:38	地形モデルごとの最大流速が最大となるケースを加えた全ケース について耐津波設計方針における検討対象とするというような記 載に適正化してございます。
0:13:50	また水位下降側については、
0:13:54	確定していないということで
0:13:56	水位下降側が確定した段階で、改めて各地形モデルにおける最大 流速が最大所等計測確認するという位置付けで資料を修正してご ざいます。
0:14:09	44 ページをご覧ください。
0:14:13	44 ページにつきましては沈降量、隆起量、地殻変動によるもの。
0:14:19	につきましてはツジという扱いで見直してございます。
0:14:24	続きまして 45 ページ以降の入力津波の設定プロセスについてです けれども、
0:14:32	こちら、45 ページですから、
0:14:36	陸域 5 メーター沈下を考慮するということは変わらず、ステッ プ 1 で、それぞれ沈下ありなし、各波源について、
0:14:45	水位変動量を評価していくと。
0:14:48	そして影響、潮位変動地殻変動を考慮して、ステップ 2 の値を出 すと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:55	いうところで地殻変動をツジにしたことにより、ステップ2の最終的な値もツジということで修正をさせていただきます。
0:15:05	46 ページの3号炉水施設についても同様にお考えで資料を見直しているという状況でございます。
0:15:16	47 ページの12号炉取水施設の方でございますけれども、こちらは影響要因を地すべり地形1の崩壊、のみを考慮するということで見直しまして、
0:15:29	そしてステップ1で、すべての波源に対して崩壊ありなしの組み合わせを考慮して水位変動量を出すと。
0:15:38	その後、感度解析で、階付着ありなしスクリーン状態健全損傷をそれぞれの組み合わせを考慮して、ステップ2で水位を算出すると。
0:15:49	いう方針で見直しをかけてございます。
0:15:54	こちらにつきましては53ページに評価条件の例を載せているということで、
0:15:59	そちらについてもあわせて修正をしていると。
0:16:04	いった次第でございます。
0:16:07	48 ページの放水施設につきましても、最大値が認められる度捨て場の崩壊を影響要因として考慮して、
0:16:16	Aということで、
0:16:19	ステップについて修正を加えてございます。
0:16:24	50 ページにつきまして、津波高さ以外の入力津波設定プロセスでございますけれども、こちらでも下降側の波源をツジとしたことによりまして、
0:16:36	その見直しをしたと、ということとあと、ケース数については、
0:16:43	ツジということで修正をさせていただきます。
0:16:47	51 ページご覧ください。
0:16:49	51 ページの、
0:16:52	流況に着目する方ですけれどもこちらについても下降側の方をツジとして、ケース数もそれに合わせてツジとしたと。
0:17:01	いうことで修正をさせていただきます。
0:17:04	52 ページご覧ください。
0:17:08	52 ページの津波荷重の評価因子のところで、米印5復帰し、しまして、津波荷重の評価においては水流速に加え時刻歴明を考慮すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:20	ということで追加してございます。
0:17:24	説明としては以上となります。
0:17:27	はい。規制庁藤原です。それでは1 質疑に入りたいと思います。
0:17:39	私の方から、
0:17:41	パワーポイントの26 ページからちょっとお話しさせていただきます。26 ページは前回のヒアリングの中で、マーカー、
0:17:51	以前中込たちが全部四つの
0:17:55	項目全部赤にしたもので、確か上昇。
0:17:59	水位上昇ですかね、ごめんなさい。12 号取水と放水工は、一部青があったと。
0:18:05	だけど今回要はチャンピオンケースは赤でちゃんとやりますよ、はいこれは前回の、
0:18:11	そういう話があったと理解しましたので、それと別でちょっとこの資料をちょっと改めて見てちょっと感じたことでちょっと確認します。で、上の二つについてはなかなか大きい変動量、0.98 だとか、
0:18:26	0.8 で、
0:18:27	下の二つ、時に没水高とフォース以降は、それぞれが0.04 の上昇量、
0:18:34	あともう一番下の放水今度は0.02 の上昇量ですかね、例えば一番チャンピオンケースだろう。
0:18:41	うん。じゃあとったときにですね。
0:18:43	もう1 回ちょっと上の方に戻って例えば、そうですね3 号取水口っていうところを見て、
0:18:49	サンゴ水コウノこの橙色の
0:18:52	江藤マークがつけてある波源F。
0:18:54	陸域沈下の13.62 の0.8、これがイマイばチャンピオンだからこれ選んだっていうのはわかります。
0:19:02	で、
0:19:02	じゃあそれ等、その他のところでも何かプラスになってるやつって組み合わせる必要がないんだろうかっていうのがちょっと今ふと思ったところだったんですね例えば、さっき言った0.04 とかでも、要は、
0:19:14	組み合わせるんだけど、
0:19:17	さっきの12 号室以降ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:19	放水行為だったら 0.02 ですよね。
0:19:22	3号取水口見たときに、例えば海域沈下であれば波源分、橙色のちょうど右どなりかな。
0:19:31	ピンクかピンクのミドル 0.05 の上昇量。
0:19:35	度ステファンに立って 0.01、糖度ステファンの方から 0.04。
0:19:41	要はこれらっていうのは、陸域沈下と組み合わせる必要が、
0:19:45	ちょっと今のこの資料とちょっと、必アリマの話なのかがちょっとわからないんですね、今多分析やらないというのは、資料上はあるんですけど、
0:19:53	この辺で、
0:19:54	何か事業者の方で、その組み合わせの考え方って何か、
0:19:58	考えてますでしょうか。
0:20:10	北海道電力の要請数まで現在考えているのは、チャンピオンケースの3号取水口でございましたら、陸域の5メートル沈下こちらを影響要因として見ていくことで、
0:20:25	解析を実施するという事で進めていきたいと考えてございます。
0:20:40	その考え方ですけれども基本的には5メートル沈下の間はゲームのところの最大値が認められるケース。
0:20:50	を見ておけば、他のところは包絡されると、それに包絡されるという考えから、こちらを代表で
0:21:00	影響要因として考えると、
0:21:03	いうことで、
0:21:04	検討してございます。
0:21:06	木内がちょっと言い方悪かったですかね、例えば敷地地盤陸域の5メートル沈下に加えて、海域も同時に2メートル沈下すした場合の、
0:21:17	評価はなぜ要らないんですかっていう通りなんですけど、
0:22:03	ちょっと事業者で打ち合わせいたします。
0:23:34	北海道電力の吉井です。
0:23:37	基本的にははゲームの5メートル沈下の0.48メートルの上昇のやつが
0:23:44	一番チャンピオンということで、これを見ておけば問題ないという考えでございますけれども、ちょっと内々には他の要因も含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:55	検討しまして、もしそれでチャンピオンが更新されれば、それで見直すと。
0:24:01	いうことでちょっと検討したいと思います。
0:24:27	北海道電力の吉井です。計算結果を踏まえて検討するということで注記を追加したいと思います。以上です。
0:24:37	ずっと規制庁しますわかりました何がしか増えてる部分に関してはちょっと、そういった脅威の評価をして、必要に応じて足し込むという方針で今後資料も、
0:24:48	直されると理解しましたこれ、28 ページの利息も、
0:24:52	一緒ですよね流速もなんか 28 ページ見たときにチャンピオンケースの波源Dの防波堤損傷なしで、
0:24:59	全部が重畳したときに、どうなるのかとか、いうところまではまず、有り得ないかもしれないけどただ、そこら辺の影響の度合いがちょっとよくわからなくて、
0:25:09	そこはちょっと考え方をきちっと、要は影響の考え方ですかそこは本当は考察とかを交えてやったら一番ベストなんですけどね。
0:25:17	うん。この考察ができないんだったら、ちょっとそこは確認をいただけるようお願いします。よろしいですか。
0:25:24	北海道電力の吉江です。他の影響要因との重畳とか、そういったことも影響については必要に応じて
0:25:34	検討をして、その旨を記載したいとございます。以上です。
0:25:40	そしたらちょっと私の方からちょっと連続して、ちょっと上の方から行っていきます。パウポの6 ページを開いてください。
0:25:48	6 ページの方で今回回答概要ということで書かれてる内容が、結構たくさん日本語で書かれて
0:25:56	回答概要のところに、要は、上昇側だけ今回やりますっていう、明記されてますかね。要は下降側は今回はちょっとまだやってませんので、
0:26:05	それは資料1、2-3 も一緒なんですけどね。
0:26:10	北海道電力の吉井です。6 ページのところは上昇側下降側というのは明記してないんですけども、
0:26:18	現時点での結果がこうで、
0:26:24	最終的に今後確定した基準津波によって改めて評価を実施しますというような文言は、記載してございます。
0:26:32	ごめんなさい。じゃあ、資料2-3、見てもらっていいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:36	資料 2-3 で
0:26:38	今回のコメント、指摘事項の内容があってその本日回答の中で、
0:26:44	本日回答と言っているこの黄色の中に上昇下降、要は、特に分けがないってことは、全部あると私はちょっと見てしまったんですよ。だから、後日回答予定の中に、
0:26:55	少なくとも下降側は入ってないとちょっと、
0:26:58	これ本日回答の中に入っちゃうというのが私が言いたいゴトウです。
0:27:03	いいですかね。
0:27:05	北海道電力の吉井です。承知いたしました下降側の扱いについてはこちらの回答の中で明記したいと思います。以上です。はい。続きまして 16 ページ開いてください。
0:27:17	16 ページはこれはちょっと、この図を書いてある内容についてちょっとうふうと教えて欲しいこれはちょっと教えて欲しい。
0:27:25	内容です。この例えばその 22 分のところの真ん中の上の方で、泊のものに岸壁いいとかクレーンのあるところで結構水が、
0:27:36	浸水してて結構赤いところ、
0:27:39	ちょっとハッチングが、
0:27:40	アカイシ水域のてるかな、なってますで、これが 24 秒でも、ちょっと拡大してて、
0:27:47	26 秒、左下に行くと、
0:27:49	これ引き波のときにも何かまだ残っていると、28 分の引き波が一番ひどいときかな、この時はまだ何かたまったままのような状態になってるんですね、もない岸壁のところ。
0:28:01	ここで何か、実際こういう水が引き波の状態であってもたまったままになってるっていうことなんすかねこれ事実確認ですね。
0:28:11	もしたまったままになってるっていうことはこれは何が原因なんでしょうかと。要は、
0:28:16	陸域東海セト水野マツノ関係市と、
0:28:21	滞留してしまっているのかどうなのかとか、
0:28:23	あともう一つはこれ、うっすらたまってるとかどうかってのわかんないすね要は、この判例が、10 メーターのところ打ち切られてもしかしてこれ、
0:28:35	もっと高い。津波高さ、例えば 12 か 13 とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:39	あるんだったら、
0:28:40	何か今赤い位置赤で一色で書いてるのは本当はもうもうちょっとコンターがあって、
0:28:45	何かあるのかなあとかですね。
0:28:48	その辺でなんかどうでしょうかねちょっと教えてもらってもいいですかねこの見方です。
0:28:57	北海道電力の吉井です。見つかったとしましてはご認識の通りで、陸上のところに10数メートルの水が溜まっているということで、
0:29:09	28分のところまで止まっているということなんですけれどもちょっと現象についてはまだ考察できていないので、そちらについては、まとめて回答させていただきたいと思います。以上です。
0:29:25	説明ですけど、ここでちょっと不思議だったのが、
0:29:28	28条の28分と見てもらおうと、⑧拡大。
0:29:33	いわゆる水素が海とさ、陸上でさ、10メートルがさがついちゃってるんだけど、何でだろうって。
0:29:40	思うよね。
0:29:42	次のページの17ページでもを見ていただくと、これは
0:29:48	全時刻の最大値を示してるコンターですけど、これ、赤くなるとところが一番厳しいっていうのは、みんな大体ね、
0:29:57	包丁で全面会議が前面のところ大体多くなってるじゃないすか他のケースもね。
0:30:02	これからすると逆に言うと、矢頭側ってあまりそんな赤くならないのに、何でこっちの16ヶ月なくなってんだらうとか、不思議なわけですよそれは何か、10メートルとかで打ち切りになっているから本当数センチとね。
0:30:17	しか残ってなくてもこうなるのかなと思ってケースから見ると、これって、北側防波堤の話だけで、ちょっと地盤沈下はしてないんだよね、地盤沈下してれば。
0:30:27	さすがの細かいところの流況はうなずけるんだけど、5メートルのところ、
0:30:32	5メートル低くしてるとかそういうことで何か、
0:30:34	水がたまりやすくなるとかいう話があるんであればわかるんだけど、
0:30:39	これそういう別に一番駅、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:42	超過による地盤沈下とか考えてないケースですよ。
0:30:46	そうすると何でなんてなのかなっていうことでちょっと、
0:30:49	ちょっと理解に理解できないっていうよりは、何らか何か説明が中で、
0:30:54	してもらえば理解できるのかもしれないんですけど、
0:31:00	よく考えてみると、中で今まで説明受けてる方とちょっとつじつま合わないんで、そもそもそれ考えていくとこれ、通常でいうと、
0:31:10	プラス 10-10 という、
0:31:12	評価の仕方だから、津波の上昇量の、
0:31:16	今度なんですよ。
0:31:17	上昇量っていうか、上昇下降量っていうかその上昇分とか構文ってことで別に TP 評価じゃないですよ。
0:31:27	これ。
0:31:28	これ TP なんての。
0:31:32	そうですね、コア、ここ 10 円万なんだよねとか。
0:31:35	だから 11 センチとか 10、
0:31:38	10、
0:31:39	10 ってね、1 ミリとか、こうなっちゃうかもしれない。うん。
0:31:44	そういうことなのかなというふうに思っはいるんだけど、その辺だけちょっと。
0:31:50	何か PP とか何も書いてないから、よくわからないんで、実際には、最大 15 名、15 メーターぐらいのあれにしないと。
0:31:58	それが出てこないんだと思うんですよ。次の 17 ページみたいな差が出てこないだろうと。ただそそいったコンターの色の錯覚だけなのかもしれないですがそれをちょっと確認したかっただけなんですけど。
0:32:12	回動電力の卸です 16 ページの方はその水位の分布で 17 ページがその水位上昇度の分布による違いだと考えてはいるんですけども、ちょっと
0:32:26	事実を確認して必要に応じて資料を修正したいと思います。以上です。
0:33:55	規制庁内打ち合わせ中少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:34	はい規制庁藤原です。相馬町内の打ち合わせが終わりました。続きまして、22 ページをちょっと開いてください。22 ページで、吉良伊井。
0:38:45	江藤ハッチングで今回変更箇所※1 の地すべり地形③のうちの、主にスチール度数なりからルー堆積物を放管範囲とし、
0:38:55	他の設定の根拠は今後説明するというふうに追記いただいて、これはあれですかね放火範囲の設定というのは要は岩盤のAという地震で壊れない方も含む、
0:39:05	という理解してよろしいですか。
0:39:09	北海道電力の吉井です。看板のところの健全性とかそういったものを含めて説明性があるかというのを整理して今後ご説明する予定です。以上です。
0:39:22	はい。江藤規制庁者ですわかりました。
0:39:25	続きまして、52 ページ開いてください。
0:39:30	52 ページの左下に※5 がありまして、これは前回イシダが出したコメントに関するもので、追記いただいたことはわかりましたが、
0:39:40	もうちょっと記載というのはもうちょっと正確に書いた方がいいんじゃないかというのがイシダから言われてますんで、内容ワーアノ行です
0:39:48	例えばこの水流速加えの後に、保守性を考慮した時刻歴は形を選定する。
0:39:57	というふうなあのが多分正確なんじゃないかと。要は、前回も言ったように波力っていうのは、なんすかねどれだけ効いた。
0:40:05	波が来たつかとかそこら辺が一番のポイントになるのでどういう波を使うかというのが一番の考慮事項ですねそこを踏まえて、ちゃんと選定をやるっていうのが多分、
0:40:15	前回の話だったとも思いますので、より正確に書いてはいかがでしょうかということです。
0:40:23	北海道電力の吉井です。ご指摘の通り保守性を考慮して津波荷重を設定しますので、保守性を考慮した時刻歴アンケートを記載を見直したいと思います。以上です。はい最後の方もコール数じゃなくて選定。
0:40:41	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:44	北海道電力の吉井です。承知しました考慮する、選定するに修正したいと思います。衛藤。もう1点だけ私の方から56ページ開いていただきまして、
0:40:54	今回のツジリストの説明時期について事実の確認です。ナンバー2のウチヤマ斜面の地震動基準津波に対する健全性評価というのは、
0:41:06	これは来年の1月というふうに書かれてますけども、これわああれですかね要は、ハザード側の審査項目である、あっちの三条四条の周辺斜面かな。
0:41:20	この時期と多分合わせるのかなと思ったんですけど。
0:41:24	こないだちょっと聞いた話、さっき聞いた話だと包丁て以外のものと、防潮てそのものっていう確か時期を分けられてこれ、
0:41:33	防潮て以外のところの時期に含まれているという理解でよろしいですか。
0:42:00	はい。
0:44:09	北海道電力の吉井です。すいません本店の方。
0:44:14	聞こえますかね。ウチヤマ斜面の基準地震動及び基準津波に対する健全性評価。
0:44:23	結果のところですか。防潮て以外の方で確認するというので、認識問題ないか、ちょっとご確認を。
0:44:33	いただけないでしょうか。
0:44:36	北電土木部はOKです。私の方でもちょっと状況わかってないところなので、ちょっとそちら側で回答できない状況であれば持ち帰りにした事実確認した上で回答した方が良く思っております。以上です。
0:45:11	規制庁シゲマスなんかちょっと、青木さん言っときますね。パワポの資料の21ページにおける防波堤んぼ端部の時自然邪魔なことですね要は、
0:45:22	津波防護機能を持つてる時山があってそれをS _s に対して壊れないかっていう評価を必要になってて次。
0:45:30	一応この評価っていうのは私従前の審査の先行プラントだと。
0:45:37	確か防潮ての周辺斜面として評価することも一応やってたかと思ったんですね。で、或いはその五条単独として、この時評価するってそれも当然ありだと思んですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:50	私は何か今のこれまでのイシイ経過だと、要はハザード側ですと膨張ての支援斜面として、この次山を評価するのを利用するのであれば、その説明時期と
0:46:00	一緒なのかなと。そしたら先ほどの、
0:46:03	まず説明スケジュールの時に示された膨張て以外の主、地盤と周辺斜面のところで、説明するんす。だから時期が来年1月なんだと。
0:46:17	私はそういうちょっと思いを持ってたんだけど、まずそれってどう、どうなのかって青木さん今何か答えられたら答えれますか。
0:46:27	北海道電力青木です。すいません結論から言いますと私の方ではちょっと答えれないというところが結論になってしまってちょっと申し訳ないんですけど社内のちょっと認識の
0:46:38	共有不足かなと考えております回答の仕方とか、含めて今後回答というところがいいのかなと考えてます。以上です。
0:47:08	北海道電力の高橋です今ちょっとこちらの方で確認しますので、後程ご回答します。
0:47:37	規制庁JASもう1点だけ、56ページのナンバー9、管路解析結果及び感度解析を踏まえた入力値の設定その結果が来年4月となっておりますけどもこれは、
0:47:48	あれですかね、結果に至る前までに、一部だけ何かある代表のものをもって解析を示したところ後、
0:47:59	今こちらコメント等出したやつについても回答は、この時期を待たずにして回答されるとそういう理解でいいですかね。4月にどこまでの意図があるのかがちょっと今見えなかったんで、
0:48:12	今の二つ、一部だけでも、
0:48:19	北海道電力の高橋です。今ここに書いておりますのは論点スケジュールのところで管路解析の結果をすべて反映した説明ということで、
0:48:31	7月っていうことでお示しをさせていただいておりますけれども、一部分でもその間も踏まえて、前もって説明できないかっていうのは、
0:48:41	そちらの方でもコメントいただいておりますので、ちょっとそちらの早めに管路の一部分でも説明できるように、さらに、それに関するコメント回答ができるようにするのは、ちょっと調整させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:51	1 フジワラです。わかりました。じゃあ、衛藤ほかに確認のある方についていかがでしょうか。
0:50:03	規制庁の三浦です。この記載なんだけど、
0:50:07	51 ページ。
0:50:09	左側の表のところ、基準津波公募で 20 ケースって入れちゃってますよね。
0:50:14	これオカ全部マルケ図になってんじゃないですか。
0:50:19	気持ちはわかりますけどそろえたいですね。
0:50:28	北海道電力の吉江さん、基準津波候補のケース数のところも、ツジに修正いたします。以上です。
0:51:00	確認ございますでしょうか。
0:51:10	どんなカワセです。
0:51:12	37 ページの 1.5 の管路計算で、
0:51:16	貯水プールの池 9 について、水効果時ってというのは、
0:51:21	フジワラのコメントを踏まえて書いてくれたんですけど、
0:51:26	これってというのは、
0:51:28	池、弓野薄井は TP。
0:51:32	10.3 のまま降下しない設定とするっていうのは実際効果ほんとしらないんですか、それとも安全側だから公開しないと考えてるんですか。
0:51:42	それについてはいかがですか。
0:51:49	北海道電力の吉井です実際に降下しない設定としていると、いうふうに、
0:54:48	すいません、今、事業者で内容確認中です。
0:56:04	北海道電力の吉田です。貯水プールの増井加工 G のモデルとしては記載している通りですけれどもそのの、
0:56:14	実際この貯水プールから、取水ピットスクリーンに繋がる排水管をモデル化しないということで、プールの水が抜けないという設定。
0:56:24	が妥当かどうかというところは今後確認して、回答いたします。以上です。
0:56:31	妥当というより保守的かどうかという観点で、
0:56:35	書いていてくれればあとは注意書きとして書いてくれればと思います。私からは以上です。
0:56:51	その他、確認し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:53	よろしいですかね。
0:56:55	はい。ウェブで参加の方々に確認ございますでしょうか。
0:57:03	よろしいですかね。はい。
0:57:05	じゃあ、今日のコメン通り須藤が出されて、そのの、
0:57:13	今回のコメント回答ですかね資料の2-4でいくと、342番だけですかね、今日は、
0:57:39	北海道電力植原です本日回答分としてはナンバー100342番、1件のみです。
0:57:48	はい規制庁藤ですわかりました一応最大検査認めるやつで見直されたというのは理解をいたしましたけどちょっと、要は切っちゃいいものの影響の、
0:57:59	要因をどう考えるかっていうのについてはちょっとまだ、改めてちょっと資料が更新いただけるようにお願いします。一応これ、
0:58:13	はい。江藤。要は5メートル陸域沈下に加えて、海域沈下一見たら重畳とか、そこら辺がどう考えるのかちょっとうちまだ今、よくわからない状態でそこは
0:58:24	一応今回はまだ回答は、継続という形にさせていただきます。はい。
0:58:31	じゃ、北海道電力何か確認したいことがありますか。
0:58:42	はい、北海道電力から特にございません。
0:59:02	そしたらちょっと本日のコメントの内容を確認しますのでちょっと1回ヒアリングの方は一時中断をいたします。
0:59:15	規制庁藤山です。今日のヒアリングの島内等確認事項について整理しましたので私の方から読み上げます。
0:59:24	藤ちゃん、今回の津波の影響要因の組み合わせっていうところについてはチャンピオンケース以外にも何かほかに、
0:59:34	地形変化で、私はちょっと数字が変わってるところあったんでその組み合わせを、
0:59:40	両方或いは複数組み合わせる必要があるのか、そういうのを計算結果等踏まえて考察とか検討していただいて、今回の会合資料上では中期示した上で、
0:59:51	今後説明いただけるようにお願いします。さっきの具体的な例でいくと、陸域5メートル沈下には共通の用地震の緊急のある海域の2メートル沈下と、
1:00:03	同じ地震で同じような近い場所になりますねそこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:07	組み合わせの可否方も必要、検討必要ですね、あとはちょっと統一けど捨て場とかの崩壊、この辺をちょっときちっと検討してください。同様に、
1:00:18	もうこれ水位上昇だけ言いましたが、流速の観点でも、同様に記載いただけるようお願いいたします。これで北海道電力の方よろしいですか。
1:00:32	北海道電力の吉井です。承知いたしました。こちらの沈下ケースの重ね組み合わせることの必要性や、
1:00:42	流速の関係でも同様に検討したいと思います。
1:00:47	はい。規制庁藤原です。それでは全体を通じて規制庁側或いは北海道電力から確認事項ございますでしょうか。
1:00:56	よろしいですかね。はい、じゃあ、今日のヒアリングは以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。